

# ふじネットワーク



△住環境のよさは富士市一の富士見台



## 自然環境に恵まれた ふれあいのあるまち 富士見台

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。9月は吉永、10月は須津地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

富士見台地区は、茶畑と雑木林を切り開いた富士見台団地と旧原田地区の三ッ沢北端の住宅地から形成されています。

富士見台団地は、昭和四十五年から五十一年にかけて県が開発造成したもので、約二十一万坪の広さをもっています。現在は二千戸余りの新しい住宅が建ち並び、いまでも宅地造成が進んでいます。

住民の年齢層は比較的若く、住民の大半は全国各地からきた県外出身者であるのが特徴の一つです。このため、物の見方、考え方も多様化していますが、家を建てた人たちは、ここを永住の地と定め新しいまちづくりに意欲的です。

三ッ沢地区については、生活環境整備に遅れはあるものの、一人ひとりの意識は富士見台団地と総じて変わりありません。

今後は三ッ沢地区の生活環境整備を図り、富士見台の恵まれた環境の継承や、市街地への交通体系の整備などが課題です。また、次代への伝統文化をつくりあげていく必要のある地区でもあります。



### 日中友好一家

富士見台二 内藤さん一家

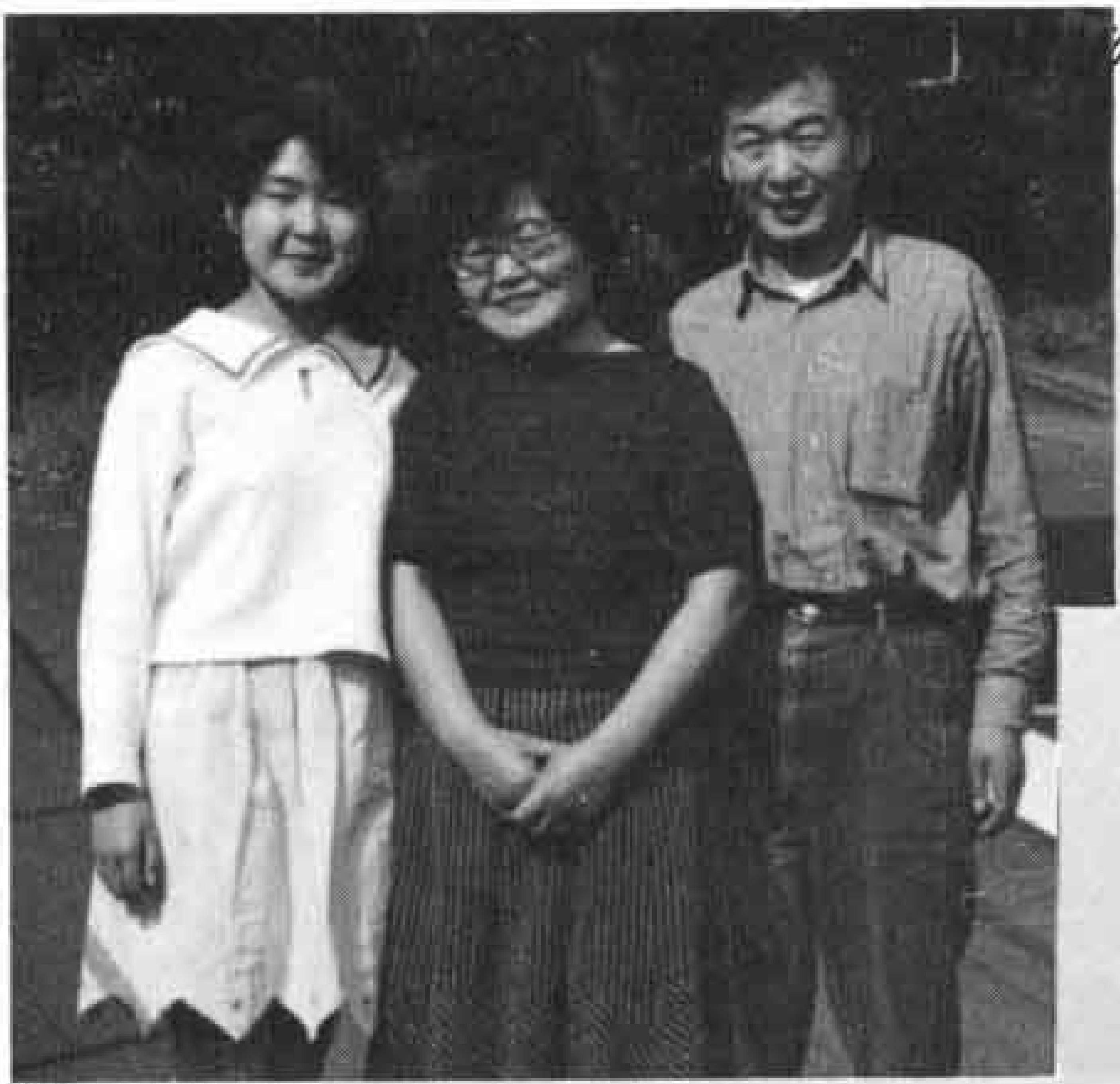
内藤さん一家は中国残留孤児一家として日本へ来て四年目。言葉・生活習慣など全く違う環境の中で、意欲的に努力し、日本社会にうまく溶け込んでいます。今回は、内藤さん一家におじやました。

内藤さん一家の一番の障害は、苦勞しています。それでも日常生活に支障がない程度の日本語を話せるようになりました。

現在、申さんは中国語を生かした会社で研修中。南さんは福祉センター広見荘の臨時職員として働いています。秀子さんはコンピューター会社のキーパンチャーとして勤めるかたわら、青年講座の中国語の講師もしています。「運転免許を取りたい」というのが今の希望です。「明石家さんまのファン」と言う玲子さんは、吉原商業高校二年生。ちゃめっ気たっぷり、だれがみても日本人。



△長女の秀子さん



▷右から申さん、南さん、玲子さん

一家の夢は、一人前になった保夫さんを中心に中華料理店を開くこと。ガンバレ内藤さん一家。





田宿川で行われるたらい乗り競争の実行委員長

お 小 澤 進さん

栄町(62歳)



今泉の田宿川周辺の六町内は、十年以上まえから川の清掃を続けてきました。ことしは一歩進めて川に親しみ、川を大事にする気持ちを育てようと、八月九日、田宿川でたらい乗り競争が行われます。その実行委員長が小沢さん。

たらいは直径一呎の大きいものを十二個用意。今泉公民館南の学校橋から竹の棒でこいでいきます。種目は多彩で、平安時代の「曲水の宴」(曲水に杯を流し詩歌を詠む宴)をまねたものも。たらいはその後も夏休みの間、子供たちに貸し出されます。「富士市民は水に恵まれすぎて大事にする気持ちが弱い。これをきつかけに、みんなが川を見直してくれれば…」と熱く語りま

# まちか

## 我がまちを語る



佐野茂雄さん

富士見台 7 (72歳)

まちづくりの意欲的  
富士見台は地元はもとより、北海道から九州まで全国から集まった人々が住んでいる新興住宅地です。  
団地ができた当初は、隣組といっても名ばかりで、自治活動や行事など全くありませんでした。加

えて、住民の年齢層が若いこともあって、地域のまとまりという点では弱い地区でした。  
しかし、今では逆に伝統がなく若いということが、富士見台のまちづくりにプラスの作用をもたらしています。若い住民は、地域のソフトボール・バレーボール大会などで懇親を深め、まちづくりにもその力を発揮しています。まちづくりに対する情熱や行動力、新しい考え方は、おそらく富士市一ではないでしょうか。  
今、富士見台の住民は「富士見台を自分のふるさとに」を合言葉に、よりよい伝統を築くべく燃えています。

## あの人・この人・こんなこと



DVDで楽しむ竹細工  
堀久光さん(富士見台六)

富士見台の竹細工の先生といえは堀久光さん。子供のころの経験をもとに勉強し、竹笛、竹ゼミ、竹トロンボ、水鉄砲などをつくりま



植物ならなんでもこい  
鈴木四郎さん(富士見台二)

若いころから植物が好きで、三十年前に今でいう脱サラ。華道の道を極め、植物染色・薬草・薬酒を独学。植物のことならなんでもこいの鈴木さんです。最近まで市内の多くの中学・高校の華道講師も勤め、植物への愛情は人一倍。



目指すは三味線日本一  
嶺脇武紀さん(富士見台六)

男性的ですが、どこか寂しげな音色の津軽三味線。嶺脇さんは二十年前、その調べに心打たれ、以来、日本一を目指して練習を積んでいます。練習場は原田の東名ガード下。嶺脇さんの歌う民謡と三味線が響かない日はありません。



まちづくりの主力  
富士見台婦人会

ベッドタウンの富士見台ですから、昼間はほとんど主婦ばかり。そこで俄然、まちづくりの主力となったのが婦人会。富士見台下水処理場の汚水問題から、粉せっけんの使用運動を始めたのがきっかけで、昨年、正式発足しました。日常生活の必要感から生まれた行動派の婦人会です。

